

しごとと改革の取組について

令和元年6月3日
総務局

3つのレスの取組について

- 1 はんこレス（中間処理レス）
- 2 ペーパーレス
- 3 キャッシュレス

1 はんこレス（中間処理レス）

<電子決定率の目標設定及び達成状況>

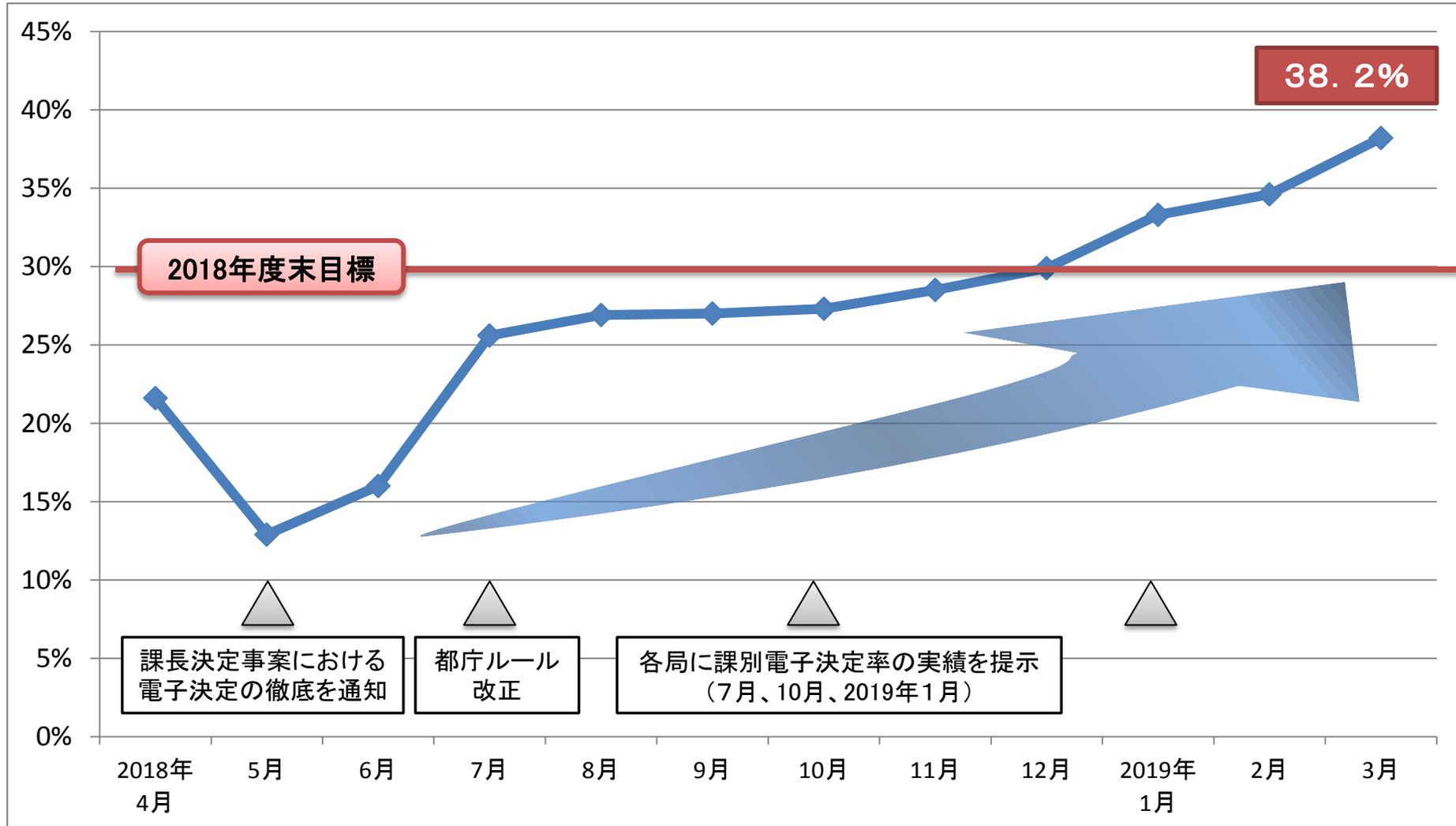


<主な取組内容>

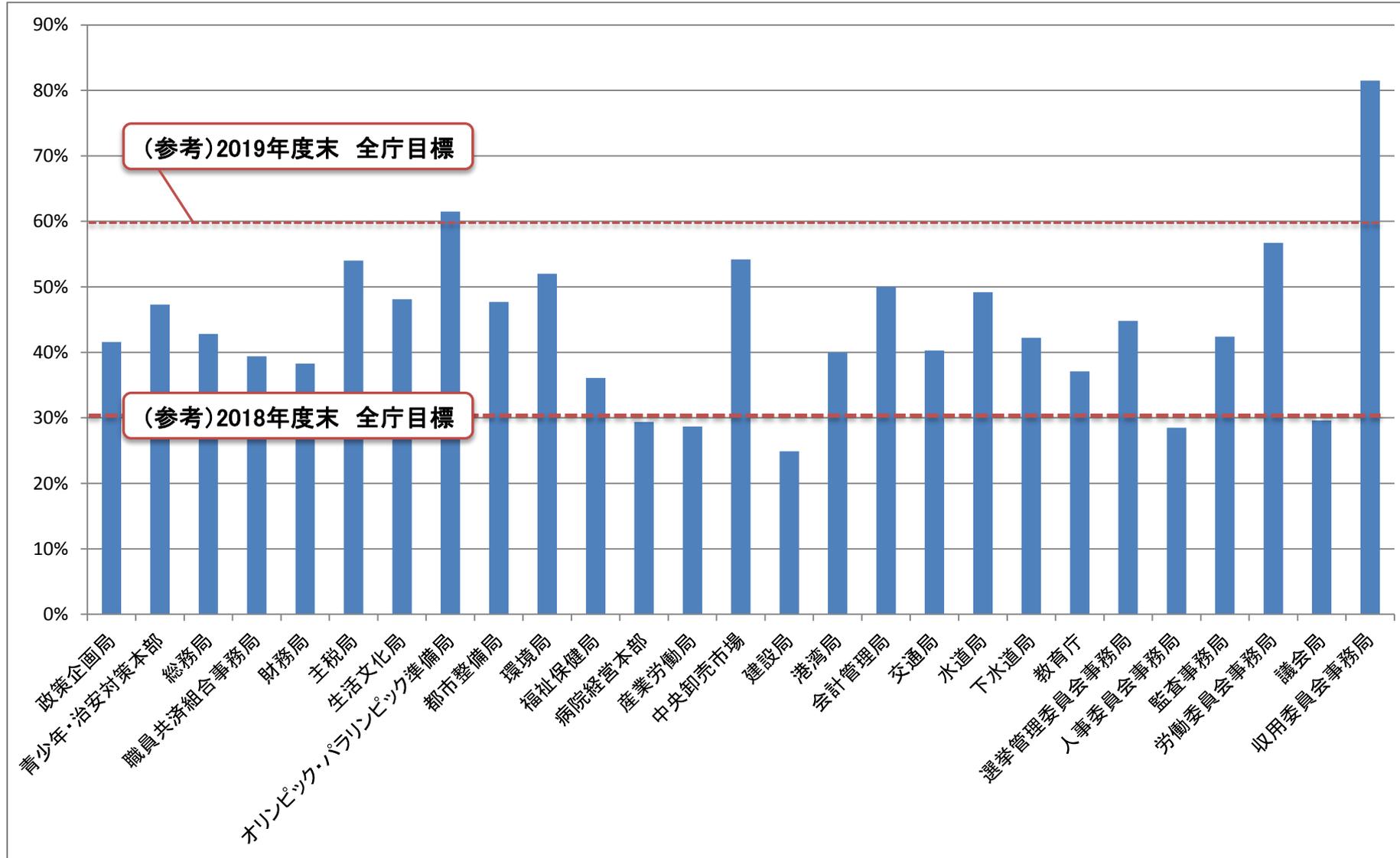
項目	これまでの取組と今後の取組
電子決定率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○総起案件数の過半数を占める課長決定事案における電子決定を徹底【2018年5月】 ○各局に課別電子決定率の実績を提示し、電子決定徹底の意識を喚起【2018年7月、10月、2019年1月】 ○都庁ルールの改正等による働きかけ【2018年7月】
	<ul style="list-style-type: none"> ○電子決定を徹底する範囲を局長・部長の決定事案にも拡大【2019年4月通知】 ○書面決定を選択する理由として最も大きな割合を占める契約・支出関係の起案文書について、電子化を推進【2019年4月通知】 ○2018年度の各局の電子決定率を公表 ○2019年度中に文書管理規則等を見直し、書面決定の適用範囲を厳格化

<2018年度実績>

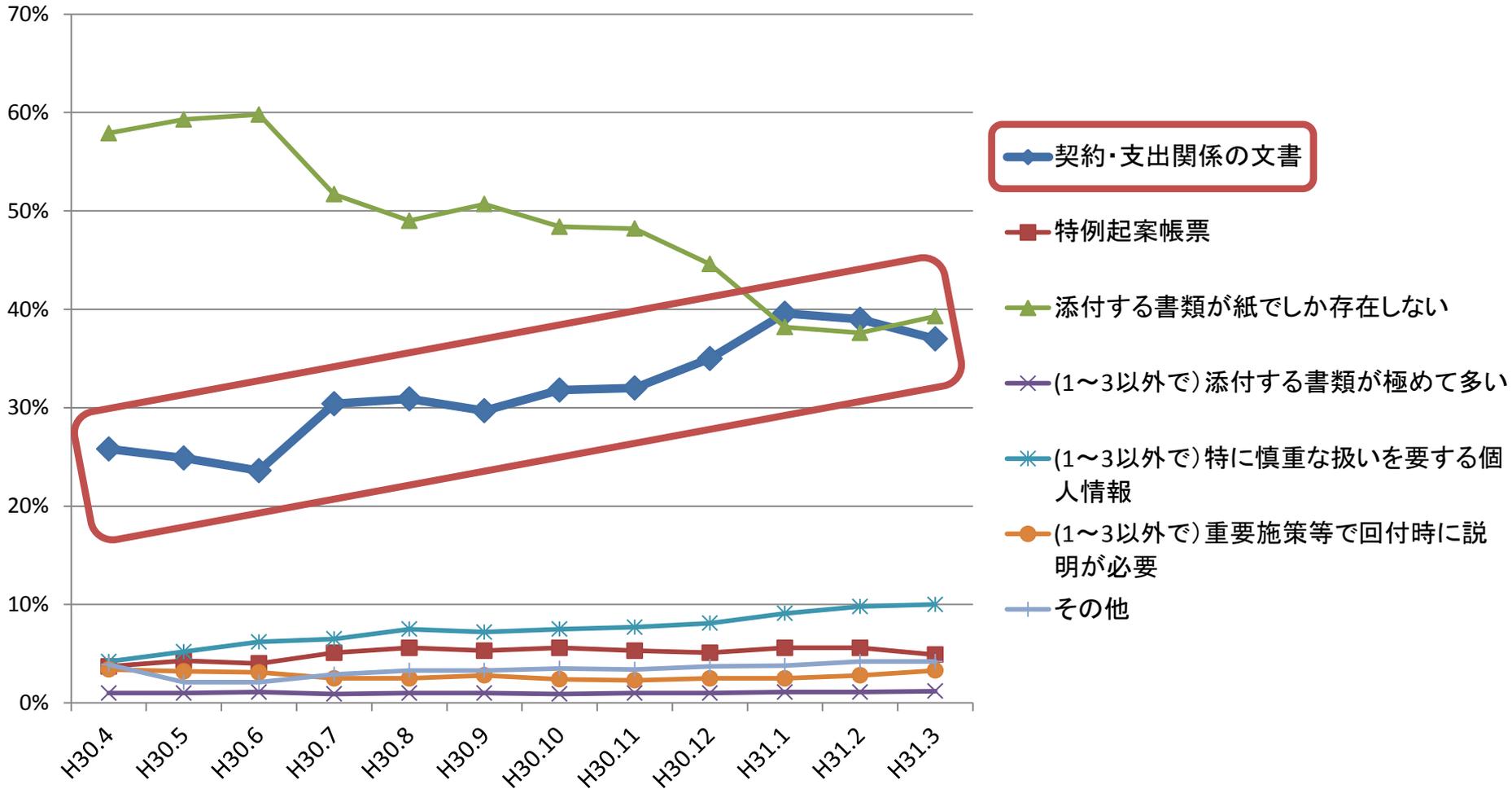
◆電子決定率の推移



◆局別電子決定率（2019年3月）



◆ 書面決定の理由別割合の推移

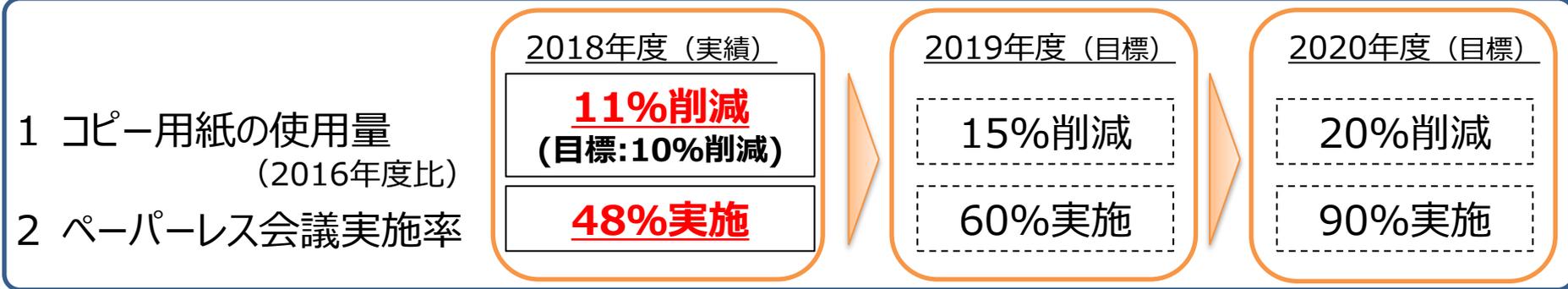


「契約・支出関係の文書」の割合が
相対的に高まっている傾向

契約・支出関係の起案文書
について、電子化を推進

2 ペーパーレス

<全庁的な目標設定及び達成状況>



<主な取組内容>

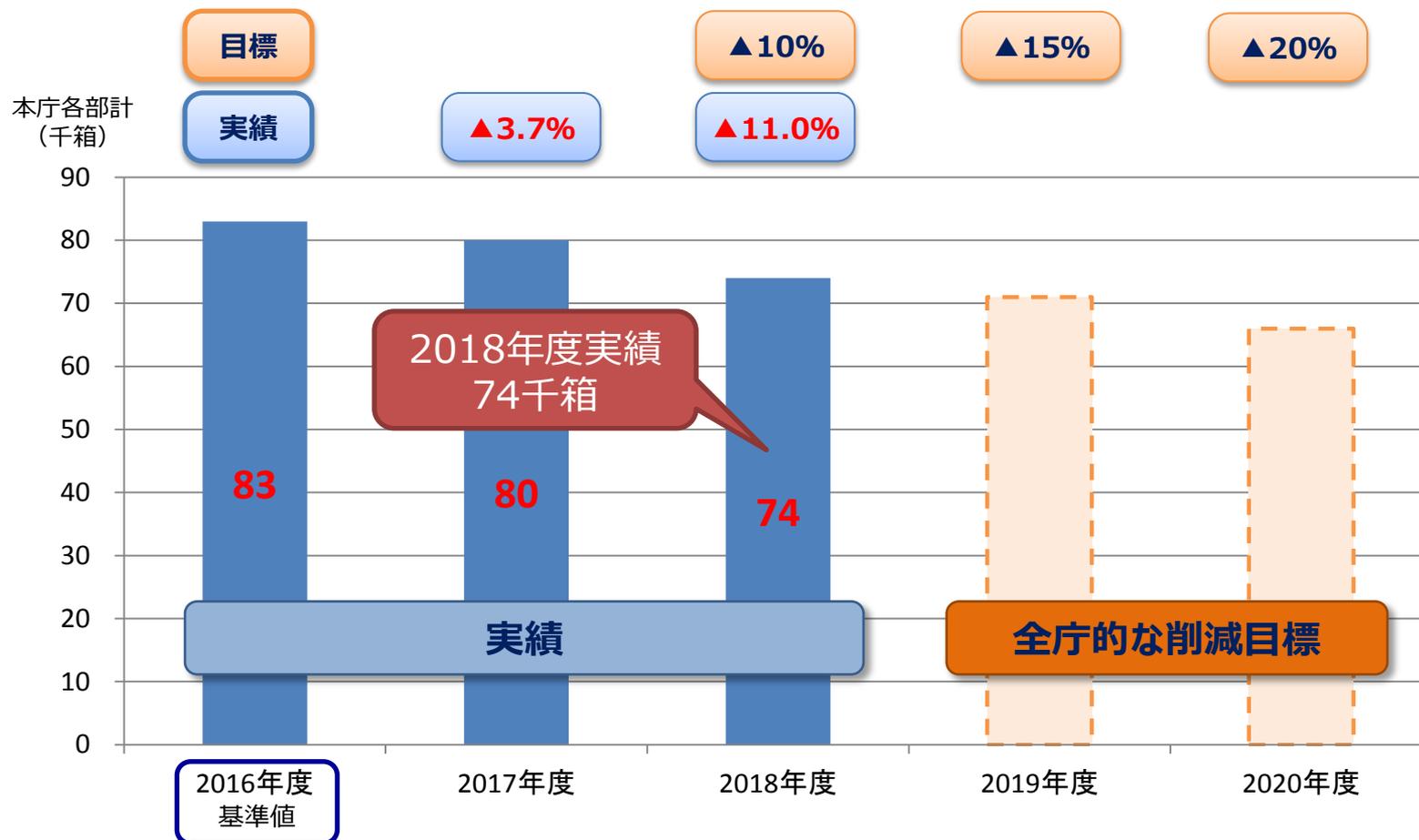
項目	これまでの取組と今後の取組
コピー用紙削減	<ul style="list-style-type: none"> ○局ごとにコピー用紙の削減目標を設定 ○部ごとにペーパーレスにつながる具体的取組を設定
ペーパーレス会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○全庁的なペーパーレス会議実施率の2019年度目標を設定
実施状況調査、取組の見える化	<ul style="list-style-type: none"> ○コピー用紙使用量、ペーパーレス会議実施状況等の調査・集計
推進支援等	<ul style="list-style-type: none"> ○新TAIMS端末へ順次更新(3000台) ○職員掲示板を活用したペーパーレス推進に有効な情報の発信

○目標未達局、使用枚数が多い部等については**業務分析に基づく取組等**を設定【2019年5月】
 ○**幹部説明(局長、ライン部長レク等)の原則ペーパーレス化**【2019年度～】
 ○**取組状況等の情報共有、公表により職員の意識啓発を図る**
 ○ペーパーレス推進支援、ICT環境の充実※を引き続き実施
 ※新TAIMS端末の本格導入(本庁全職員)、遠隔会議機能・本庁舎無線LAN等【第4四半期】

<2018年度実績>

◆コピー用紙使用量の削減状況

○全庁的な削減目標（10%）に対する2018年度削減実績



※コピー用紙使用量の対象は、議会局、東京消防庁、警視庁を除く、本庁各部計

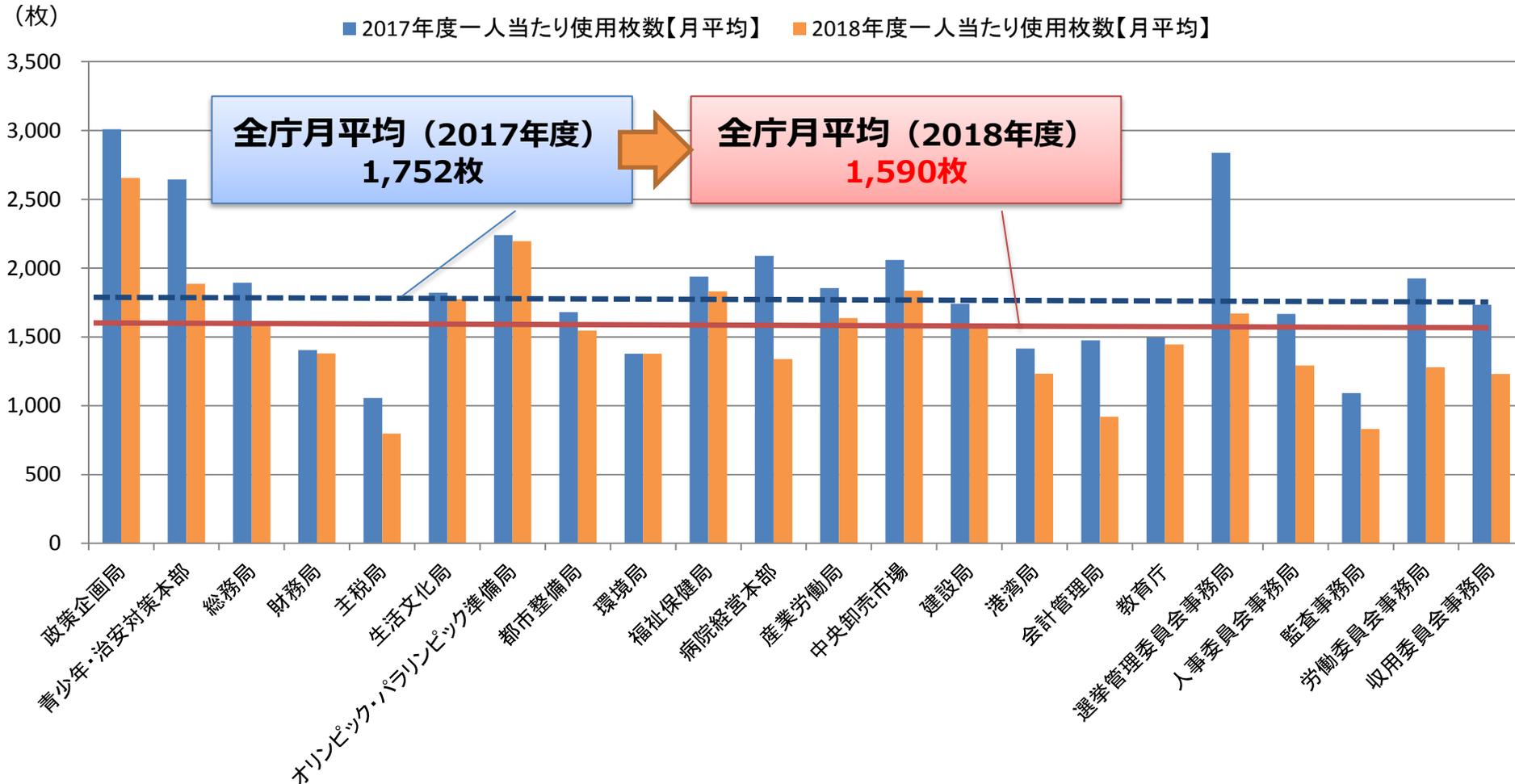
※目標とする削減率は、本庁各部を対象とした2016年度対比により設定し、各局が設定した各年度の削減目標の平均値により算出

※2016年度基準値に一部修正があったため、本報告資料より2017年度削減率（実績）を訂正

◆複写サービスの一人当たり月平均使用実績

○局別使用実績の2018年度、2017年度対比

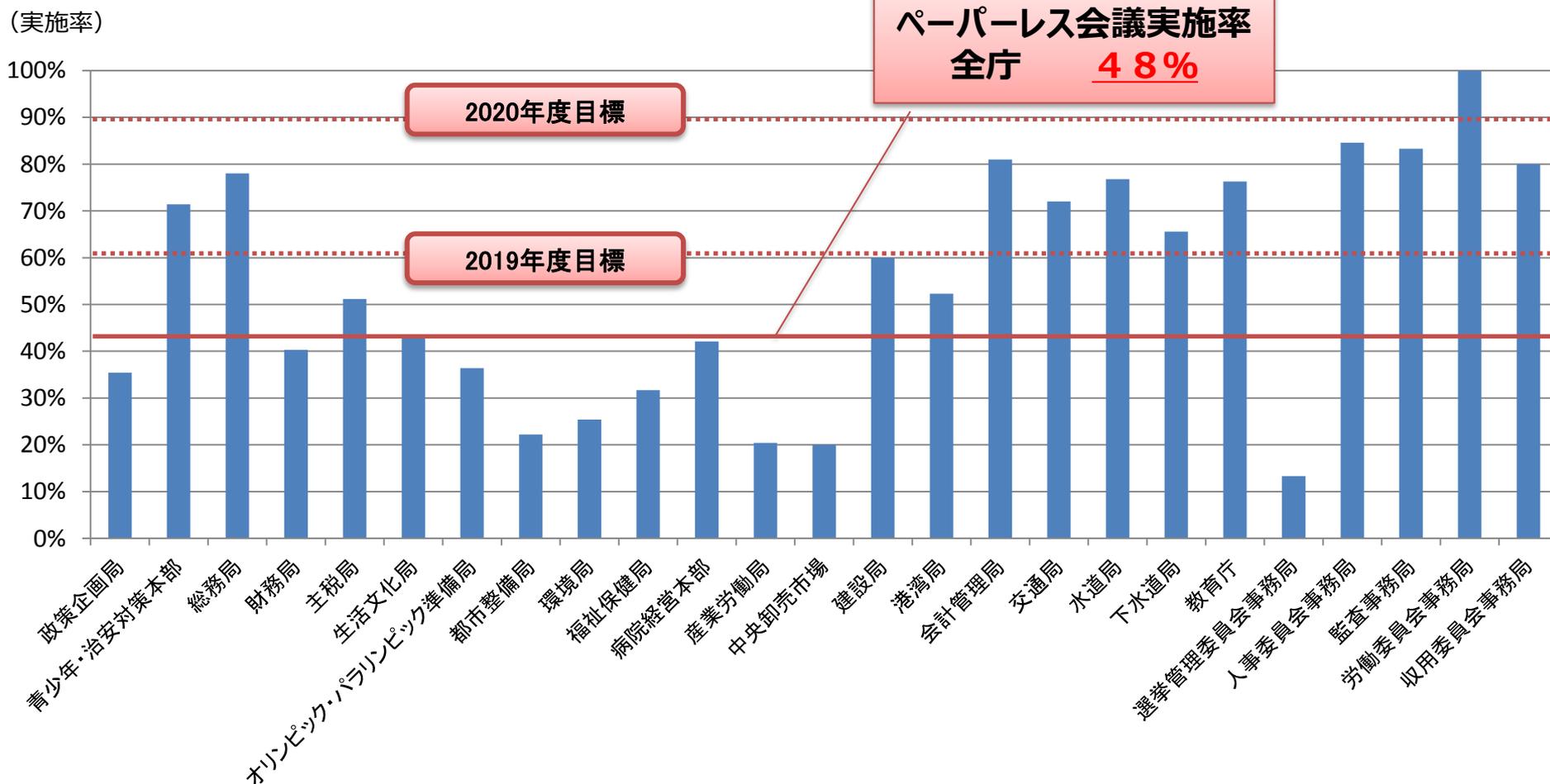
(参考) 複写サービス総使用実績 2017年度：1億8,500万枚 2018年度：1億7,200万枚



※複写サービスの使用実績の対象は、議会局、東京消防庁、警視庁、公営企業局を除く、本庁各部計

◆ペーパーレス会議実施状況

○各局等本庁各部で所管している会議のうち、ペーパーレス会議の局別実施状況（2018年度末時点）



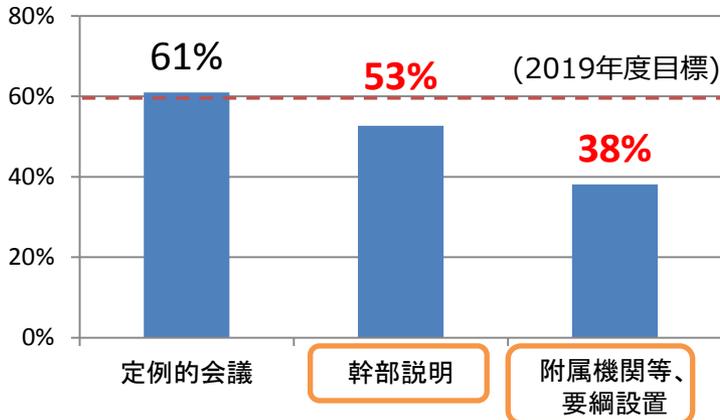
※定例的に実施する局内幹部会、課内課長代理会、幹部説明や審議会等を対象

※議会局、東京消防庁、警視庁を除く。

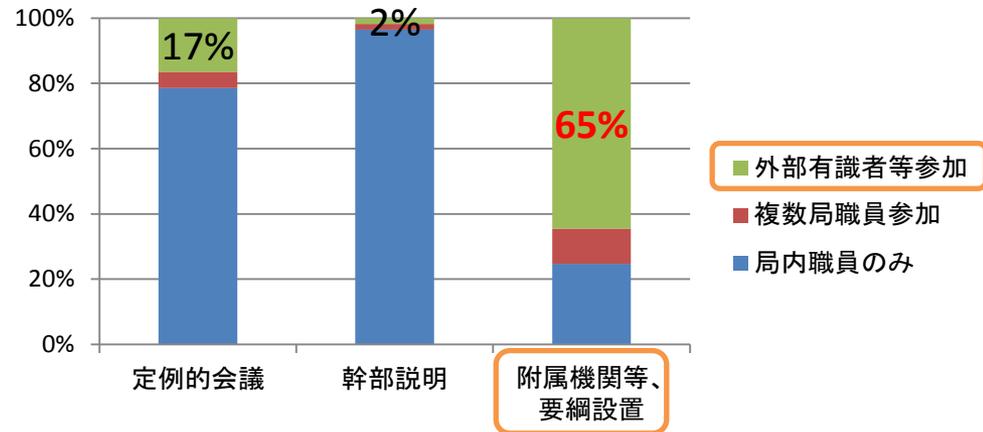
◆ペーパーレス会議実施状況【集計結果】

○各局等本庁各部の所管会議(1,606会議)を「附属機関等、要綱設置」、「定例的会議」、「幹部説明」に分類

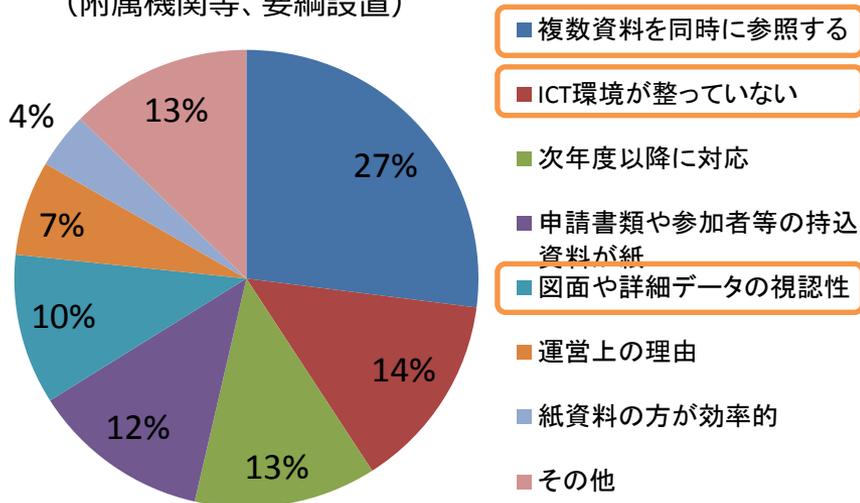
①各会議におけるペーパーレス会議実施率



②各会議における参加者別割合



③ペーパーレス会議未実施の理由別割合 (附属機関等、要綱設置)



「幹部説明」、「附属機関等、要綱設置」の会議について、より積極的にペーパーレス化に取り組む必要(図①)

- ➡ 「幹部説明」は既に実施済の局等の事例を展開し、2019年度中の局長、ライン部長レク等の原則ペーパーレス化を推進
- ➡ 「附属機関等、要綱設置」の会議は、有識者等、外部の参加者が多く(図②)、左図③の理由を解決するため、ICT環境の整備や運用上の工夫が必要
⇒ICT環境の整備推進とともに、民間や他自治体等の先進事例を収集し、運用方法などを全庁に展開

<取組状況等の情報共有>

○ペーパーレスの推進に繋がる各種情報（ペーパーレスの取組状況、各局における効率的・効果的な取組、ICTの活用事例など）を「ペーパーレス推進掲示板」に集約し、情報共有を進める。



各局の取組による 実績の公表



実績
(ランキング形式等)

順位	部	使用量
1	〇〇局××部	△△△△△△
2	〇〇局××部	△△△△△△
3	〇〇局××部	△△△△△△
4	〇〇局××部	△△△△△△
5	〇〇局××部	△△△△△△
6	〇〇局××部	△△△△△△
7	〇〇局××部	△△△△△△
8	〇〇局××部	△△△△△△
9	〇〇局××部	△△△△△△
10	〇〇局××部	△△△△△△

各局における取組の好事例など

- FAXのペーパーレス化【政策企画局】
FAX受信時に、紙で出力せず自動でPDF化するよう設定
- 定例会議のメール開催
会議資料の電子化、メールを活用した意見交換
- 報告方法の電子化、回覧文書の電子化
 - ・取りまとめ部署への報告や調査回答を電子データで提出
 - ・組織内で供覧する文書をPDF化し、共有フォルダ等で共有

3 キャッシュレス

<目標設定>

支出：2020年度までの原則キャッシュレス化

収入：2019年度までに利用者が多い主要施設のキャッシュレス決済導入を完了

<主な取組内容>

項目		これまでの取組と今後の取組
支出	旅費	<ul style="list-style-type: none"> ○赴任・帰住旅費 ○特別職非常勤職員の旅費 ○確定払旅費(宿泊を伴うもの)について、キャッシュレス化 <ul style="list-style-type: none"> ○概算払旅費について原則キャッシュレス化【2019年4月～】
	資金前渡	<ul style="list-style-type: none"> ○ブランドデビットカードの試行実施【2019年1月】 <ul style="list-style-type: none"> ○試行対象組織の拡大【2019年4月～】 ⇒2020年度より本格実施見込み
収入	使用料・手数料 <ul style="list-style-type: none"> ○利用者が多く、インバウンド利用が想定される主な施設等(次頁参照)についてクレジットカードや電子マネー等による決済を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間10万件以上の利用がある施設(※)についてキャッシュレス化【2019年度中】 ⇒主要な都立施設のキャッシュレス化完了 ※恩賜上野動物園、葛西臨海水族園、多摩動物公園、神代植物公園、井の頭自然文化園 ○新たな決済手段としてQRコード実証実験を実施(恩賜上野動物園)【2019年度～】 ○有償の行政手続のオンライン化を順次実施【2019年度下期～】 ⇒手数料のキャッシュレス化の推進

(参考) 都有施設におけるキャッシュレス導入状況

2019年3月31日現在

クレジットカードのみ	電子マネーのみ	クレジットカード及び電子マネー
<ul style="list-style-type: none"> ○都税 全税目（非電算化税目除く） ○水道・下水道料金 ○文化施設 東京文化会館 東京芸術劇場 ○スポーツ施設等 東京体育館 駒沢オリンピック公園総合運動場 東京武道館 東京辰巳国際水泳場 有明テニスの森公園テニス施設 武蔵野の森総合スポーツプラザ 大井ふ頭中央海浜公園 若洲海浜公園（ゴルフリンクス） 	<ul style="list-style-type: none"> ○都立庭園 浜離宮恩賜庭園 旧芝離宮恩賜庭園 小石川後樂園 六義園 向島百花園 清澄庭園 旧古河庭園 旧岩崎邸庭園 殿ヶ谷戸庭園 	<ul style="list-style-type: none"> ○都立病院 広尾病院 駒込病院 神経病院 松沢病院 大塚病院 墨東病院 多摩総合医療センター 小児総合医療センター ○都立駐車場 八重洲駐車場 宝町駐車場 東銀座駐車場 日本橋駐車場 新京橋駐車場 板橋四ツ又駐車場 ○文化施設 東京都江戸東京博物館 江戸東京たてもの園 東京都美術館 東京都写真美術館 東京都庭園美術館 東京都現代美術館

(注) 下線は2018年度新たに導入した施設（但し、都立病院及び東京都江戸東京博物館は、既存のクレジットカードに加え、電子マネーを新たに追加）

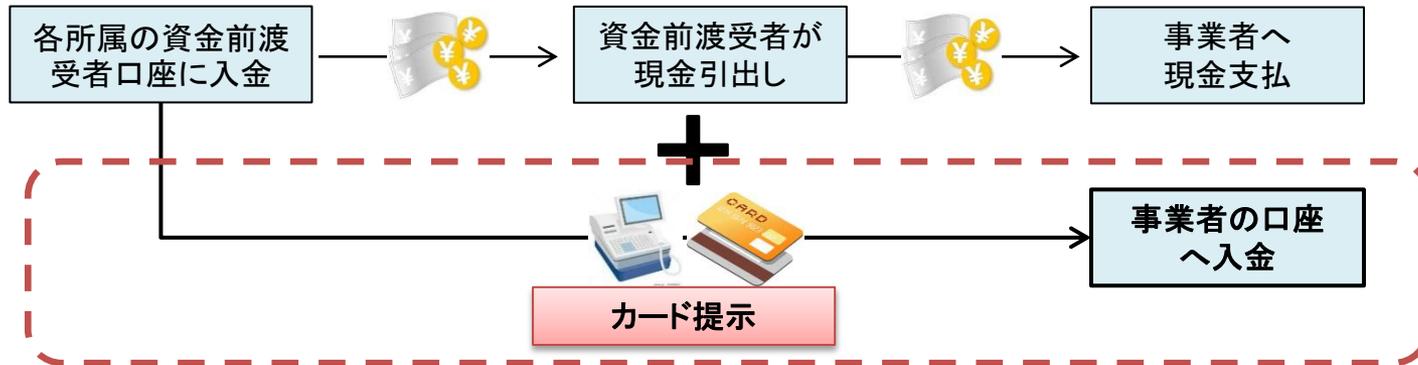
優先的に導入すべき選定条件に合致し、今後導入予定の5施設（2019年度）

- 動物園、水族園等
恩賜上野動物園、葛西臨海水族園、多摩動物公園、神代植物公園、井の頭自然文化園

<キャッシュレス化の取組事例>

○資金前渡のキャッシュレス化の取組として、①「ブランドデビットカードの導入」及び②「クレジットカード利用対象の拡大」に取り組んでいる。

(キャッシュレス化のイメージ)



①ブランドデビットカードの導入

- 2019年1月より試行開始
- 2019年4月より試行対象組織の拡大



②給油専用クレジットカードの導入【水道局】

- 2019年1月より給油専用のクレジットカード(ガソリンカード)を局内2部署で試行導入
- ⇒今後、局内他部署にも拡大予定
- ※給油の支払が全てクレジットカードになった場合、少額資金前渡の約3割がキャッシュレス化



組織名義(漢字)での発行が可能